

日吉台地下壕保存の会

会報

第40号

発行 日吉台地下壕保存の会

編集 事務局

223 横浜市港北区下田町3-15-27

寺田方 TEL.045-562-1282

(年会費) 一口千円で、一口以上

郵便振込口座番号00250-2-74921

(加入者名)日吉台地下壕保存の会

1996年10月

- 賛同者各位
- 賛同団体各位

第4回横浜川崎平和のための戦争展96

実行委員会

代表 寺田貞治 渡辺賢二 新井揆博

「第4回横浜川崎平和のための戦争展96」について
～ご報告とお礼～

柿の実が色づき、朝夕の涼しさに、秋まっただ中を感じさせられる今日この頃、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

標記の戦争展（9月21日～23日）開催中は、思いがけなく台風にみまわれ、足元の悪い日もございましたが、NHKニュースや新聞報道もあり、大勢のご来場をいただき、成功裡に終えることができました。これもひとえにご賛同くださいました皆様方のお力添えの賜物と心より厚くお礼申し上げます。

「日吉台地下壕」「蟹ヶ谷地下壕」「登戸研究所」共に過去の戦争の事実を伝えるための大切な戦争遺跡として「是非保存を！！」との願いで、これからも活動を進めてまいりたいと思います。これからもどうぞご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

本号最終ページに会計報告をさせていただきます。

目次

ページ

「第4回横浜川崎平和のための戦争展96」について
～ご報告とお礼～

小さな接点を

大切にして学ぶ

聞き取り調査は新鮮だった

音声・映像記録を残したい

住民に聞き取り調査

1

2

2

3

平和のための戦争展

第4回アンケート感想文集 4～5

連載日吉台地下壕

当時の関係者の思い出話17 6

幹事会報告・運営委員会報告 7～8

横浜川崎平和のための戦争展96

会計報告 8

小さな接点を大切にして学ぶ

高校生 都倉 武之

僕が日吉台地下壕保存の会に参加した理由は一つ、歴史的な好奇心です。それは今も変わりませんが、活動とともにそれに加わったのは地下壕を「残しておくべきだ」という気持ちが強いからです。

戦前・戦中の情勢と関係のあるモノは、全くといって言ひ過ぎれば無くなっています。これからの時代はいくらでも新しい技術が開発され、建築なども良くなつて行くでしょうから、ひとたび手が加えられれば、元の姿にもどすことは不可能です。今残されている数少ない建造物などを意識的に「残そう」としない限り、どんどん時代の流れにのまれていってしまいます。

僕が日吉台地下壕保存の会

日吉台地下壕のことで考え

てみると、僕の通つている慶應高校にも、地下壕に入つてみたいという人が結構います。

僕みたいな物好きがほかにもいて、何かの機会に地下壕を見学して、当時の歴史背景など調べるきっかけになるかもしれません。この地下壕から学べる事は、縄文時代や平安時代の遺跡から学ぶ事とは訳が違います。「現在」とすぐ接している「過去」をどめている貴重な遺跡なのです。そこに余計に大きな保存の意味があると思います。

最近は、過去の事に全然無関心の若者が多いのも事実で、それは「歴史」を含め勉強が、自分を評価する媒体でしかなくなっているからだと思います。

思います。こういう中で、どうやって若者をひきつけるかが、僕達への課題だと思っています。

僕と日吉の接点は、ここに

ある高校に通つているという聞きました。聞き取り調査は新鮮だった

高校生 大野 浩

日吉の地下壕には数回入り、見たものが未だに上手く結び付いていないのだ。そして、その概要や当時の内部の様子について、知識の上ではある程度（僅かにすぎないかも知れないが）分かつてているつもりだが、それに伴うべき全体のイメージというものがなかなか湧いてこない（結果的に「日吉の地下壕」を自分の中で位置付けることが出来ていない）。これを実現すること

だけのことですが、こういった小さな接点を大切にして学んだいくことで、歴史や地理の視野が広げられ、国際社会に対応できる人になつていけばと思つています。

だけのことがですが、こういつた小さな接点を大切にして学んだいくことで、歴史や地理の視野が広げられ、国際社会に対応できる人になつていけばと思つています。

た小さな接点を大切にして学んだいくことで、歴史や地理

の視野が広げられ、国際社会

に対応できる人になつていけばと思つています。

た小さな接点を大切にして学んだいくことで、歴史や地理

の視野が広げられ、国際社会

に対応できる人になつていけばと思つています。

えてくる。

夏休み期間中にほんの数度ではあつたが、聞き取り調査に参加した。この時感じた話の新鮮さは他では得られない貴重なものであつた。よく分からぬ部分はあつたし、イメージがすぐに浮かんできた訳でもないが、現実性を深々と認識させられるものであつたように思うのだ。そして、このような認識を繰り返すことによって、自分なりのこの地下壕に対する、あるいは戦争そのものに対するイメージが出てくる（全体像が見えてくる）のではないかと思つてゐる。

今後、この様な戦争遺跡が保存され続けるとしても、それを見るだけでは、戦争体験者が語る「二度と戦争なんてしてはいけない」という戒めが全ての人々に伝わるとは思え

ない。遺跡保存のみならず、（進歩した技術で映像、音声等を記録する）保存出来たら、

どんなに素晴らしいことかと

思う。

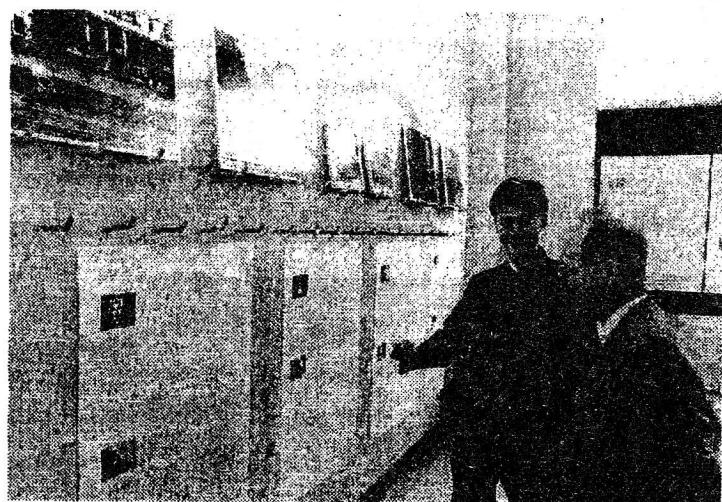
（進歩した技術で映像、音声等を記録する）保存出来たら、

どんなに素晴らしいことかと

ためにはつくった。

メンバーは夏休み中に周辺住民から当時の様子を聞き取調査。「地元の人に何も伝えないまま、地下壕工事は始まつた。見回りや監視がいて、壕について話をすると」とがめられた「壕の建設に当たつては、家屋が移動させられた。その場所に掘つた土を捨てていった」などの話をまとめ、冊子をつくるとともに、模型で展示発表をした。

仲間たちと発表をまとめた都倉君は「この聞き取り調査をやってみて、さらに興味をもつたものもありました。来年もぜひ調査をやってみたい」。指導をした寺田貞治教諭（地歴）は「自分の手で調べてきた発表はよくできている」と、満足そうだった。



展示を見ながら成果に満足そうに笑顔を見せる都倉君（左）と寺田教諭
=横浜市港北区日吉の慶應高校

吉の壕
日吉

住民に聞き取り調査

慶應高生徒ら
文化祭で発表

戦争前後の様子

新規

96.10.20(木)

1996年10月20日

平和のための

戦争展第4回

アンケート

感想文集

◆主にVTRについてですが、

今さらながら戦前の教育には身ぶるいする恐ろしさを感じます。戦争による死が人間としてもつとも惨めで愚かしいことを切に思いました。

また、気づいた人々による「うしたアクションは、とても大切なことであり、詳細をお調べになつたご努力に頭を下げるとともに感謝したいと思います。(三〇代男)

◆戦争は噩夢として過ぎ去るうとしています。戦争体験を知らない多くの人に是非「このみじめさ」を伝えていきたいのです。講演会にも参加しました。平和学習に必要な財産として、

特に戦争(非戦)文化財として、大切にして欲しいと思います。(六〇代男)

◆戦争中のもの(遺跡)が失われつつある現在、このような企画を行なつてくださったことに、まず敬意を表します。

日吉台地下壕を見て、偉い人は安全な所から指令を出し、庶民は特攻隊となつて戦死するという図式が、今でも反省されないで残つているように思います。松代大本營も同様です。これらを通して、階級による差別、他民族への差別(当時の朝鮮人労働者に対するもの等)等の反省が、これいます。(三〇代男)

◆戦争は噩夢として過ぎ去るうとしています。戦争体験を知らない多くの人に是非「このみじめさ」を伝えていきたいのです。講演会にも参加しました。平和学習に必要な財産として、

達は立派でした。(六〇代男)

◆おそろしい!せんそ者が、

きてほしくない!ひとがしぬのを見たくない。おじいちゃんはせんそに行つたけど、おじいちゃんはかえつてきたけど、しんだ人はいつばいいたとはなっていた。(七才女)

◆日吉台の壕を八月三一日に見学できました。今日の展示、講演会で登壇、蟹ヶ谷のことも知りました。昔、このものが国に戦争中の弾薬庫があるのを見ましたが、当時はまだ、よく状況が把握できませんでした。如何に戦争について教育されていなかつたかと、今気付きます。戦争中、疎開経験のある私ですからこうですか

ら、これから若い人に平和や歴史について、具体的な教育環境を残しておくこと、それを全国的なネットワークとしてつなげることが大切だ

と思いました。

韓国の独立記念館のように、

いつの日か、日本にも太平洋戦争(あるいは一五年戦争)記念館として、まとまるとい

いなと思いついたのが今日の感想の一つです。(女)

◆かにがや、登戸研究所などに行つていない人のために、ビデオテープをつくつて、かしだせばいいと思う。かにがやはそこにつとめていた人がまだ生きているので、その時のお話などもビデオテープに入れてほしいと思います。

◆広島、長崎に原爆ドームとかは見に行きましたが、まだこのへんに地下壕が残つてゐるとは知りませんでした。市長ももつと考えて、今の子供たちのために保存することを、実行してほしいと思いま

す。こういう展示やお話を何かをもつといろいろな所でし

てほしいと思います。また他の人をさそいたいと思います。

日吉台地下壕をみてみたいです。(二〇代女)

◆登戸、日吉といつた地域で、地下壕や研究所が存在したというのは、はじめて知る事実でした。地下壕造りの為に朝鮮の人々を含め、多くの一般人が犠牲になつた事や、研究所で作られた兵器や毒物で、多くの人々が命を失くしたことなど、重い事実をもつとよく知り、受け止めいくことが必要だと思わされました。

次世代にもこのような悲劇を伝えていくため、このような機会はぜひこれからも作って頂きたいと思いました。

(二〇代女)

◆三日間通いましたが、今日午後一時にきてみると若い人が何人も姿をみせていて、うれしくなりました。どうして

もこのことが大事ですね。

上原良司氏の遺書の朗読は

てもよかつたです。「机のひき出しがあかなかつたらぐぎをぬいて・・・」という箇所、どんな本が残されていたのだろうかと考えてしまふ。おりしもお彼岸、かくべつに思うのは死をいそがざるをえなかつた若人たちのこと、そして労働者、農民兵士のこと。

上原氏の所感に「こんな精神状態で征つたなら、死んでも何にもならないかもしない」とかれ、次に故に「特別攻撃隊に選ばれた事を光榮に思つて居る」とあります。何だか「命令されて行くのだ」というふうにもよみとれたのです。冒頭の言葉とこの箇所をぬくと非常にみえてくるものがわたしにはありました。

◆この地下壕が連合艦隊の司令部と知り、また重要な役割を果したことは驚きです。戦艦「大和」の撃沈の様子が寸前まで、ここに日吉に打電されたこと等、戦争との深いかかりを知りました。

◆昭和三十一年鶴見より当地に引越してき、すぐ近くに地下壕の入口があり、夏は記念館の横を下つて、壕の入口の前に立つとともに涼しく気持ちよかったです。この入口も昭和五十年頃中学生のシンナー遊びの場となりふさがれてしまつた。(六〇代女)

◆意外に残っているんだなあとも複雑な気持ちで見せていました。昭和三十一年もたつた所ということで、とても防空壕におり、ここで終戦を迎えた所ということで、とても身近な悲しみとなりました。

◆主人が海軍通信兵としてこの地下壕を作るために朝鮮人労働者が勧らかせられたこと身近な悲しみとなりました。

◆意外に残っているんだなあとも複雑な気持ちで見せていました。昭和三十一年もたつた所ということで、とても防空壕では海軍の司令部があつた地下壕が博物館として残されていますから、負け残るべきだと思います。

◆意外に残っているんだなあとも複雑な気持ちで見せていました。昭和三十一年もたつた所ということで、とても防空壕では海軍の司令部があつた地下壕が博物館として残されていますから、負け残るべきだと思います。

(三〇代女)

◆戦争はいけないとあらためて思いました。

◆地元なので両親より当時の様子なども子供の頃からきいておりました。日吉、綱島の空襲の様子を親戚等から話してもらつていましたが、身近な場所にこれほど大きなものがあるとは知らず、地元の人

連載

日吉台地下壕

当時の関係者の
思い出話 17

日吉の日々

元海軍省經理局にいた千葉氏
に伺います。

(ききて・寺田貞治 昭和五年に二〇才で海軍を志願し、横須賀海軍經理学校に入った。卒業後艦隊司令部のある戦艦長門に乗り、ついで巡洋艦高尾に二年間乗つた昭和一二年香港のバイヤス湾の敵前上陸作戦に飛行機部隊の司令部について参加した。

昭和一七年一月に三沢航空隊に移り、第七〇五航空隊の主計課士官として二年間いた。七〇五のような番号部隊には原隊がなかつた。一一〇〇人

で賄つていた。経理上から戦争の状況が分つた。艦が沈没すると後始末をしなければならないので、艦から帰つてきた人は必ず報告にきた。ミッドウェー海戦で大損害を受けた時も、帳簿上から分り、こんなことで米国に勝てるのかと思つた。

三人、尉官が一人いた。
経理局移転に当つては、大倉山も候補地にあがつたが、結局日吉に決り、現高校校舎の北側に入った。

私は海軍省経理局第三課の移転と共にきた。総勢一五〇～二六〇名程であった。日吉では武官は私一人で他はみな文官であつた。艦隊経費・物品会計の仕事をした。艦隊経費の報告書は郵送されてきた。経理局第一課も来た。四〇名位で共済・年金関係の仕事をしていた。最初男子が経理の仕事をしていくが、出征していくため、女子が増えていった。女子挺身隊が一五〇～一六〇人程いて、理事生・筆生として仕事をしていた。女子挺身隊は偉い人の娘さんが多かつた。

いたが、連合艦隊司令部が来ていることは知らなかつた。昼食はドングリ粉の入つた黒いコッペパンにバターをつけて食べた。交代で取りにいき、部屋で食べた。経理局は役所なので食事は良くなかつた。女性は弁当持ちで東京や横浜から通つており、近くの人はいなかつた。当時東横線は淋しかつた。武蔵小杉は工業都市と呼ばれていた。蝮谷のテニスコートでよくテニスをした。

いたが、連合艦隊司令部が来ていることは知らなかつた。昼食はドングリ粉の入つた黒いコッペパンにバターをつけて食べた。交代で取りにいき、部屋で食べた。経理局は役所なので食事は良くなかつた。女性は弁当持ちで東京や横浜から通つており、近くの人はいなかつた。当時東横線は淋しかつた。武蔵小杉は工業都市と呼ばれていた。蝮谷のテニスコートでよくテニスをした。



19年10月21日、ブルネイ泊地における長門——「あ号作戦」の敗退後に行なわれた対空兵装の画期的強化により、25ミリ機銃はいちはやく98挺に増強された。さらには電探装置も充実し、前橋砲トップによる一二号1基と二二号2基、後橋には一三号2基のアンテナが見られる。艦隊作戦に臨むとする緊迫感が画面から伝わってくるようだ。

写真太平洋戦争

光人社NF文庫
ノンフィクション

(第7巻) マリアナ沖海戦
光人社 比島沖海戦

幹事△云報生口第三回
七月一日一九時
フードギャラリー
報告
一、六月三〇日「横浜川崎平和のための戦争展」第四回実行委員会開催
議事
▼「横浜川崎平和のための戦争展」実行委員会として近代遺跡の保存について全国的なシンポジウム開催を呼びかけ
てはどうか
*方向として、前向きに
▼日吉台地下壕のビデオを夏休みに茂呂、谷藤が中心になり製作する

幹事△云報生口第四回
九月二日一七時半
フードギャラリー
報告
一、七月一四日「96平和のための戦争展かながわ」第四回実行委員会開催
和のための戦争展かながわ」開催
二、同二六日「同」第五回同三、同二二日会報三九号発送
四、同二五〇二八日「96平和のための戦争展かながわ」開催
五、八月三日横浜市中学校社会科研究会「臨地研修講座」による見学会（五名参加）
六、同八日横浜市・横浜市教育委員会へ平和のための戦争展後援依頼を申請
七、同一〇日藤沢市「平和の輪を広げる一〇〇日事業」による見学会一九名参加
八、同二二～二三日地下壕ビデオ撮り打合せと撮影

幹事△云報生口第五回
九月二日東洋経済日報（韓国系新聞社）の取材
一〇、同一七日「横浜川崎平和のための戦争展96」用写真パネルの選別
九月七日「まめの会」主催講演会「日吉台地下壕」
二〇余名参加
一、九月七日「まめの会」第一回
二、九月一六日一九時
コーヒーライブ
報告
一、九月七日「まめの会」第一回
二、九月一六日「横浜川崎平和のための戦争展96」反省会
一〇、同四日水道局職員労組による見学会三五名余参加
九月三日「横浜川崎平和のための戦争展96」反省会
一〇、同四日水道局職員労組による見学会三五名余参加
一、同五日インターネット・カレッジコーポの学生による見学会
一五名参加
二、同二二日韓国ソウル・

二二、同二四日、武藏野文化協会による見学会一五名参加
一三、同二六日「96平和のための戦争展かながわ」開催
二〇〇〇名）」反省会
一四、同三一日「横浜川崎平和のための戦争展96」プレイヤントの見学会約三〇名参加
一五、九月一日第四回幹事会開催
二二、同二二～二三日「第四回横浜川崎平和のための戦争展96」開催。二一日七五名、
二三日二五〇名余参加
七、同二八日相模原市職員労働組合による見学会四〇余名参加
八、一〇月二日日本平和学会「戦争と平和の歴史」コミッショングの方による見学会四名参加
九、同三日「横浜川崎平和のための戦争展96」反省会
一〇、同四日水道局職員労組による見学会三五名余参加
一一、同五日インターネット・カレッジコーポの学生による見学会
一五名参加
一二、同二二日韓国ソウル・

